

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

1. 歴史的風致維持向上施設の整備・管理の考え方

計画における歴史的風致維持向上施設とは、地域における歴史的風致の維持向上に寄与する公共施設等であり、整備と適切な管理を行うことにより歴史的風致の維持向上を図る。

第1期計画では、情報発信拠点（道の駅）、文化財ガイダンス施設（文化財センター）、阿津賀志山防塁歴史公園（歴史公園）の整備を行い、各施設が、周遊の起点又は拠点となり交流人口の大幅な増加につながった。

さらには無形民俗文化財に対する活動支援、案内ボランティア育成、歴史を活かしたまちづくり推進事業で、住民主体・協働の活動定着が図られ、団体活動の活性化や継続性ととも、担い手の増加につながる事となった。

一方で、度重なる自然災害とコロナ禍による影響は大きく、さらに令和4年4月には国見町が過疎地域指定を受けている状況であり、良好な歴史的風致を形成していた歴史的建造物の維持や、活動継続が難しくなっている状況もある。地域の担い手不足は顕在化しており、次代の人材育成に関する課題の解決には至っていない。

これらを踏まえ、歴史的風致維持向上施設においては、歴史的風致を形成する建造物の保存や活用、歴史的風致の維持向上に資する環境の維持など、町民や来訪者が本町特有の風致を感じられるような整備を行い、歴史的風致の維持向上を図る。

整備の推進にあつては、施設や地域の歴史を取り巻く背景を十分に調査するとともに周辺の景観に配慮し、関係機関、地域住民、関連団体と十分に協議した上で整備を行う。

歴史的風致維持向上施設の管理については、施設の所有者や関係課など十分な協議・調整を行い、地域住民や関連団体との連携による維持管理についても取り組む。

上記の考え方に基づき、以下の事業を推進し、歴史を活かしたまちづくりから波及する交流人口の増加や、歴史的建造物等の利活用による地域活性化を図るとともに、歴史まちづくりに関する担い手の育成を図り、本町特有の歴史的風致を次世代に伝え引き継いでいく。

ア 阿津賀志山防塁の保存・活用に関する事業

1. 阿津賀志山防塁史跡整備事業 平成 20 年度～令和 12 年度(2008～2030)
2. 阿津賀志山防塁歴史公園整備事業 令和 9 年度～令和 12 年度(2027～2030)

イ 歴史的建造物の保存・活用及び周辺的环境に関する事業

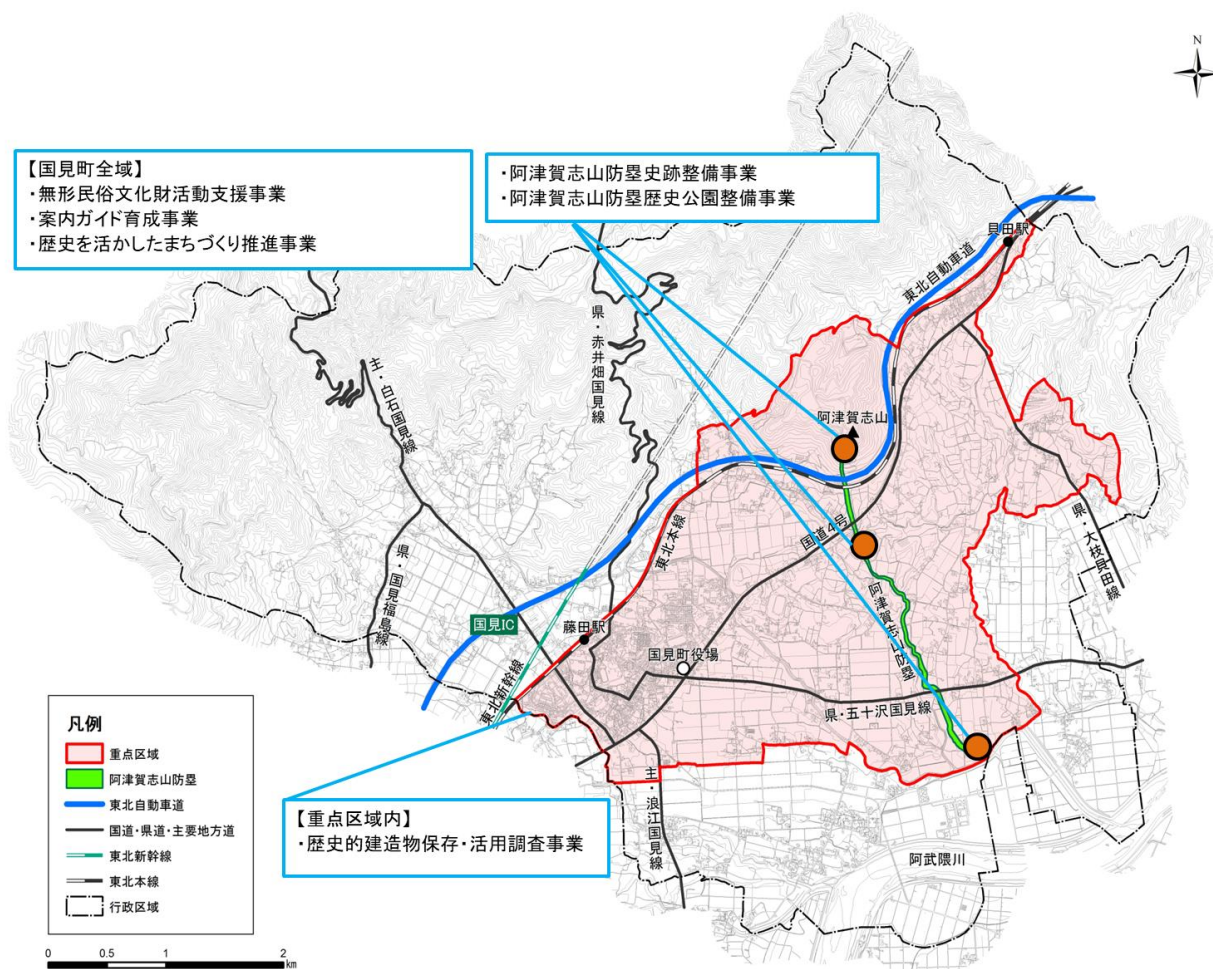
3. 歴史的建造物保存・活用調査事業 令和 7 年度～令和 9 年度(2025～2027)

ウ 歴史と伝統を反映した人々の活動に関する事業

4. 無形民俗文化財活動支援事業 平成元年度～令和 16 年度(1989～2034)

エ 情報発信と人材育成・住民協働の充実に向けた取組に関する事業

5. 歴史を活かしたまちづくり推進事業
平成 26 年度～令和 16 年度(2014～2034)
6. 案内ガイド育成事業
平成 27 年度～令和 16 年度(2015～2034)



■ 重点区域と各事業の位置

2. 歴史的風致維持向上に資する事業

事業名	1. 阿津賀志山防塁史跡整備事業
整備主体	国見町
事業手法 (支援事業名)	国宝重要文化財等保存・活用事業(史跡等保存活用計画等策定事業、埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金、史跡等買上げ事業、歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業)
関連計画	阿津賀志山防塁保存管理計画・同整備構想 同整備基本計画(I期)・同保存活用計画(策定予定)
事業期間	平成20年度～令和12年度(2008～2030)
事業位置	<p>■重点区域</p> <p>…重点区域 ■…阿津賀志山防塁 ●…主要な事業個所</p>
事業概要	<p>阿津賀志山と阿津賀志山防塁は、多くの町民に「町のシンボル」であり、「町の歴史性の根源」と意識されている。史跡の総合的な保存・活用を進めるために必要な保存活用計画の策定を行い、未指定範囲を含めた保存目的の発掘調査とその成果に基づく史跡の追加指定、公有地化、史跡整備を行う。</p> <p>主要な事業個所として、「東国見・西国見地区」「遠矢崎地区」「下二重堀地区」を計画し、そのほかの地区でも環境整備等を関連計画に基づき実施する。</p> <p>■阿津賀志山防塁東国見・西国見地区</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>顕彰活動が行われる史跡の適切な保存管理を図り、整備を行うことにより史跡への理解が高められることから阿津賀志山をとりまく歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	2. 阿津賀志山防塁歴史公園整備事業
整備主体	国見町
事業手法 (支援事業名)	町単独事業
関連計画	阿津賀志山防塁保存管理計画・同整備構想 同整備基本計画(Ⅰ期)・同保存活用計画(策定予定)
事業期間	令和9年度～令和12年度(2027～2030)
事業位置	<p>■重点区域</p>  <p>●…重点区域 —…阿津賀志山防塁 ○…事業箇所</p>
事業概要	<p>阿津賀志山防塁下二重堀地区周辺においては、史跡と中尊寺蓮池を一体的に周遊できる園地と駐車場の整備を行った(あつかし千年公園)。しかし、駐車場と園地の接続が不十分であることから便益性の向上を図る。</p> <p>展望台等の便益施設が立地する山頂地区は、各種施設の老朽化にともない再整備を行う。</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>整備を行うことで、多くの地域住民や来訪者が史跡を体感し、阿津賀志山防塁への認識が高まり、阿津賀志山をとりまく歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	3. 歴史的建造物保存・活用調査事業
整備主体	国見町・住民団体
事業手法 (支援事業名)	町単独事業
事業期間	令和7年度～令和9年度(2025～2027)
事業位置	<p>■重点区域</p>  <p>…重点区域</p>
事業概要	<p>特に重点区域内には、旧宿場町の面影を残す、町家や養蚕業の隆盛を反映した養蚕住宅、石蔵等が残る農村集落が存在する。</p> <p>これまでの悉皆調査によって把握がなされた歴史的建造物及び周辺景観の保存・活用に向けた詳細調査を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>■奥山家住宅洋館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>■松田家住宅の一般開放</p> </div> </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>成果を所有者と共有し、旧街道の町並みや田園風景を形成する歴史的建造物の保存・修繕・活用の基礎資料とする。歴史的風致の活動と一体となる建造物等の継承と周辺景観の向上につながり、歴史的風致維持向上に寄与する。</p>

事業名	4. 無形民俗文化財活動支援事業
整備主体	国見町・住民団体
事業手法 (支援事業名)	町単独事業(社会教育関係団体補助金による財政支援)(平成元年～)
事業期間	平成元年度～令和16年度(1989～2034)
事業位置	国見町全域
事業概要	<p>祭礼や神楽等の民俗芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握を行うとともに、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を継承していく取組に対して支援を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: left;"> <p>■内谷春日神社太々神楽 明治15年(1882)より使用されているお面。 大切に使用されてきたが、 摩耗が激しい。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: left;"> <p>■鹿島神社例大祭 お囃子や稚児舞などの活動が受け継がれている。</p> </div> </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>祭礼及び民俗芸能は少子高齢化のため後継者が減少し、担い手不足により活動の継承が危ぶまれる。このことから、祭礼や民俗芸能の参加・保存団体への支援を行い、後継者育成のしやすい環境を推進し、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	5. 歴史を活かしたまちづくり推進事業
整備主体	国見町・住民団体
事業手法 (支援事業名)	町単独事業 地域文化財総合活用推進事業(地域文化財) (令和5年度～9年度)
事業期間	平成26年度～令和16年度(2014～2034)
事業位置	国見町全域
事業概要	<p>歴史を活かしたまちづくりや町並み・景観の維持・向上に関して住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウム、文化財活用イベント、あつかし歴史館イベント、歴史ウォークの開催を行う。またこれまでの歴史まちづくりに関わる取組の成果をデジタルアーカイブとして、公開・周知する。</p> <p>その際、地域の地元団体との協力・協働を積極的に図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>■シンポジウム (第15回歴史まちづくり)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>■ワークショップ (歴史構想ワークショップ)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>■ウォーキング</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>■あつかし歴史館イベント</p> </div> </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>歴史を活かしたまちづくりには、地域住民との連携・協働が不可欠である。本町の歴史理解を高め、歴史を活かしたまちづくりへの地域住民の合意形成と参画を図ることで歴史的風致維持向上に寄与する。</p>

事業名	6. 案内ガイド育成事業
整備主体	国見町
事業手法 (支援事業名)	町単独事業
事業期間	平成27年度～令和16年度(2015～2034)
事業位置	国見町全域
事業概要	<p>本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語ることができる人材の育成を図る。案内ガイド(くにみ案内人・あつかし歴史館サポーター)の養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。</p>  <p>■研修講座(座学)</p>  <p>■現地研修(旧佐藤家住宅)</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>次世代の案内ボランティアを育成し、担い手を広げることにより、町民が親しみを持って受け継ぐ環境を整備する。</p> <p>また、阿津賀志山をとりまく顕彰活動が継続することにより、来町する人々がスムーズにかつ深く理解することができる。このことにより、歴史的風致を体感することで維持向上に賛同する人々も増え、より歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>